

## 令和５年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：５年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、２０ｍシャトルラン、５０ｍ走、  
立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

### １ 結果と分析

- 男子は全国の体力合計点をやや上回っていて、特に２０ｍシャトルランは約９ポイント上と、大きく平均を上回っている。また、上体起こしも平均を上回っており、動きを持続する能力が特に優れている。
- 女子はやや全校の体力合計点を下回っているが、２０ｍシャトルランは平均を大きく上回っており、上体起こしも平均を上回っていて、男子と同じく、動きを持続する能力が特に優れている。
- 男女とも、長座体前屈の体の柔らかさと、立ち幅跳びのタイミング良く動き出す能力に課題がある。

### ２ 取組についての評価

#### （１）体育科の学習指導

##### ①効果があつた取組

- ・教員間での体力テストの取り組みで注意する視点の共有
- ・運動会において、前学年で行う「しっぽとり」を競技として取り入れたことによる運動への意欲向上

##### ②改善を図る点

- ・体の柔らかさを向上させるために体育の時間で行う準備体操を工夫すること
- ・補助教材の活用による体力テストに向けての活動を実施すること

#### （２）今後の体力向上に対する取組

- ・体力テストへの取組期間中に児童がそれぞれタブレット等で競技のポイントを確認できるような取組を実施する。
- ・委員会主催による、外での遊びを働きかけるような取組を実施する。